

1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	一般小売店〔酒〕（経営者）	・底堅い動きで推移しているが、今月の売上が上昇気運にあるので、このままある程度上昇していくのではないかとと思われる。
		旅行代理店（従業員） その他レジャー施設（職員）	・SARSの影響も少しは好転すると思われる。 ・開催イベントが多く、多くの集客が見込まれる。それに伴い来客数・販売量も増えると考えられる。
		美容室（経営者）	・良いものであれば、オプションの料金を負担する傾向が消費者に出てきている。
	変わらない	商店街（代表者）	・バーゲン時期ということで、売上アップが見込まれる所であるが、今年の夏物の内容を見ても、バーゲンだからといって盛り上がるとは思えない。
		一般小売店〔土産〕（店員）	・SARSの影響も今後どういう流れになるのか、まだまだ景気の状態は判断しかねる所だが、国内で発症した場合はかなり影響があると思うが、そういうことがないと良いと思う。
		百貨店（売場主任）	・失業率の悪化や企業倒産、金融不安など、景気の悪化がまだ感じられるため、客の買い控えも多くなると思う。
		百貨店（販売促進担当）	・全体の消費量が変わらないなかで、競合店の新規出店により、既存店の苦戦は継続しそうである。また、今夏のボーナス状況も厳しく、目減りした全体のパイの食い合いになりそうである。
		スーパー（企画担当）	・株式市況の低迷や高失業率にみられる先行きの不透明感はずますます強まっており、客の今後の購買行動にも大きな好転は見られないものと思われる。
		コンビニ（エリア担当）	・海外旅行の減少で、北海道旅行が増える可能性はあるが、公共工事の減少で、差し引き同じになる。
		衣料品専門店（店長）	・今後、新しい商品が出れば少しは良くなるかもしれないが、安い商品も売れなくなっている状況から、今後もあまり変わらないと思われる。
		衣料品専門店（店員）	・夏のボーナスも期待していない人が多く、ボーナスが出て、衣類に使う余裕がある人がそれほど多いとは見込めない状況である。
		家電量販店（経営者）	・世の中の流れから、先行き不安がぬぐえないので、客は出費を相当抑えており、今の状況がしばらく続くのではないかとと思う。
		観光型ホテル（経営者）	・客数、消費単価の推移について、観光動向のトレンドは負の方向を示している。今のところ、明確な増加の方向を示す要因が見当たらない。
		観光型ホテル（経営者）	・去年はサッカーワールドカップのため、客足が鈍ったが、今年はないのでプラス面となる。一方、SARSの影響で、海外客、特に東南アジアからの観光客が来ないというマイナス面があり、プラスとマイナスが相まって変わらない。
		観光型ホテル（スタッフ）	・今後、北海道は観光シーズンに入るが、SARSの影響の先行きが不透明であり、海外旅行組が国内旅行へシフトされても、国内景気の閉塞感もあり、全体として弱含みに推移すると思われる。
旅行代理店（従業員）	・SARSがどの段階で収束するか不透明であり、かつ収束してもすぐには海外旅行は回復しないと思われる。		
やや悪くなる	コンビニ（エリア担当）	・今月に入って、パートやアルバイトの募集に対しての申込人数が非常に増えている。仕事の減少が要因としてあると思われる。	
	家電量販店（地区統括部）	・SARSの影響が長引けば、中国生産の商品供給も、長期に渡り入荷が見込めず、売上が減少することは間違いない。	
	乗用車販売店（従業員）	・大手百貨店の閉鎖に加えて、建築業界にも良い話は出てこない。公共事業もなくなり、先行き不明である。	
	乗用車販売店（役員）	・建築・土木の受注見込が不足していることに加えて、漁業関係ではサケ・マスの出漁が決まらず、先行きに不安がある。	
	高級レストラン（スタッフ）	・SARSの動向にもよるが、地域の消費動向も下降傾向が強くなり、先行きが大変不安である。	

		高級レストラン（スタッフ）	・夏場は観光客が増えるが、近年、観光客はディナーにお金を出さなくなった。宿泊先のホテルで、コンビニ弁当やラーメン一杯で済ますことも多く、旅先でも経費節約に努めているようである。	
		旅行代理店（従業員）	・SARSの影響が大きく、海外旅行は壊滅状態である。渡航延期勧告の解除が出されても、すぐに回復に向かうかは予測できない。国内旅行も受注の鈍化傾向が続き、今後は夏から秋にかけての急上昇を期待するしかない。	
	悪くなる	百貨店（売場主任）	・地域で大型倒産があり、雇用不安や夏のボーナスへの懸念を含めて厳しいと感じる。	
		コンビニ（エリア担当）	・SARSの影響で、観光客の入り込み数が減少している。また、銀行に対する不安があり、全体的に商品購入を手控える傾向が強くなると思う。	
		コンビニ（エリア担当）	・収入が減少しているなか、発泡酒増税や予定されているたばこ増税等、消費者の負担が非常に大きくなっているため、今後、支出に回るお金は更に少なくなってくると思われる。	
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・テレビで消毒だ！と言えば消毒用エタノールが、その日だけは飛ぶように売れる。マスクで取り上げられる健康指向の値段の安い商材はプームがあり、一時的には売れるが2、3日で見向きもされなくなり、日々の客数は減っていつている。	
		旅行代理店（従業員）	・デフレ、テロ、SARSといった問題に加えて、サケ漁の漁獲高の激減が予想され、こうした要因が地元経済へ与える影響を考えると、更に悪くなる。	
企業 動向 関連	良くなる	-	-	
	やや良くなる	広告代理店（従業員）	・6月に函館駅の新駅舎がオープンすることに伴い、駅前とその周辺地区に新店舗の出店が相次ぎ、にぎわいを見せてくる。	
	変わらない	輸送業（支店長）	・デフレの影響で輸入貨物、特に雑貨等に数量が増えている部分もあるが、それにも増して住宅・建設・一般消費財の落ち込みが激しく、さらに金融機関の貸し剥がしが従来通りであることを考えると、現状の状況が改善される見込みはない。	
		通信業（営業担当）	・このところ新規の商談は増加傾向であるが、引き続き顧客の価格に対する要望がシビアであるため、デフレ傾向が続いている。景気動向としては大きく改善へという感じはせず、現状比較では横ばい傾向で進捗すると感じられる。	
		金融業（企画担当）	・SARSの影響で東南アジアからの観光客の減少が予想されるが、その反面、道内旅行へのシフトが期待され、観光に関しては大きな影響はないと考えられる。	
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・取引先、同業者との話で、良くなる話題が一切ない。	
		その他非製造業〔機械卸売〕（従業員）	・鋼材の値上げに絡む関連資材の値戻しが浸透し、量的増加こそ見込めないが、売上は確保できそうである。	
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・年度始めの各企業の経費節約・削減が具体的に実施されてくる時期であり、この影響が大きいと思われる。	
		悪くなる	-	-
		良くなる	-	-
雇用 関連	やや良くなる	職業安定所（職員）	・今夏、商業施設の進出が予定されており、雇用需要が見込まれる。	
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・良くなる要素が見当たらない。かつてであれば、6月より公共事業が動き出したりしたが、今年はそれも見込めない。市長選挙の結果で、市民生活に回復の期待が生まれてくれれば、やや持ち直す可能性もある。	
		人材派遣会社（社員）	・5月に比べて、6月以降の求人が少し増えているものの、今後も大幅な変化はなさそうである。	
		求人情報誌製作会社（編集者）	・求人数が多少落ち着いてきたが、まだ、下がるどころまでいっていないため、今後も大きな変化はみられない。	
		求人情報誌製作会社（編集者）	・札幌駅の大型複合商業施設や新規大手スーパーの動きが一段落したため、2、3か月は大きな変化なく推移しそうである。	
		求人情報誌製作会社（編集者）	・応募採用決定率が業種によって良いところと悪いところの二つに分かれてきている。しばらくは、こうした業種動向も変わらないと思われる。	
		やや悪くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・地元大手パチンコ店が自己破産し、約120名の解雇者が発生し、地元経済の先行き不安を助長している。また、求人増加の具体的な材料が現在のところ見当たらない。

	職業安定所（職員）	・大手百貨店が8月に閉店する予定があり、地域経済、雇用に与える影響は大きい。
悪くなる	-	-